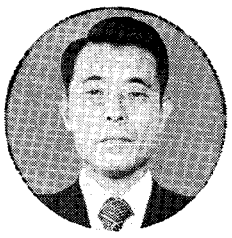
こすど公民館報
発行所　小須戸町公民館
発行人　間野良知
発行日　毎月15日
一部15円
印刷所　昭栄堂印刷所

ことばと家庭

矢代田小学校長　椿　克己



「大学は出たけれど英語もらくに話せない。」と言われても別に問題だとは思わないが、「大学は出たけれど日本語も満足に話せない」となるとこれはまさに大問題だ。もっと大げさに言えば日本の将来が危ぶまれると言っても、あながちオーバーなと一笑に附するわけにはいかなくなる。

「日本人だから生れつき日本語を話すのは当り前」という迷信にも似た考えがあるとすれば考え直さねばならない。そもそも言語能力は生れつきのものではない。インドで実際にあった狼少年カマラのことを想起すればこのことは明瞭であろう

それは、成長の過程で習得されるものである。それも幼児期における家庭の言語環境が最も大切な役割りを果すように思う。子どもはまっ先に母親のオッパイを口にふくみながら、次には家族の中で次に隣近所、さらに保育所、幼稚園、小学校と順次習得を深め拡大してゆくものなのだ。それまでに身についた言語能力や言語意識はその後の学習により知識として持つことは出来ても、習慣化され身についたものとなるにはその後の環境と本人の相当な努力がなければならない。

ところで憂慮されるのが近年の家庭環境の大きな変化である。ひとつにはニューファミリー（核家族）でありふたつにはTVの影響である。大家族時代には、家族同志の対話にも或種の対人意識が作用した。嫁は姑に、父母が祖父母にものを言うとき、ことばのはしはしにも注意を払ったものだ。子どもはその中で自然に「改まったもの言いと話しぶり」を学んだ。現代の核家族にはこの様な言葉に対す緊張感が欠け、ことば無しで分り合えるという甘えが支配している。母親の寝物語りや絵本の読み聞かせから話の間と聞き方の訓練を受けて来た。ところがTV以後、母親はその大切な役割りをTVに明けわたしてしまっている。TVというメデイアの流す情報は相手を意識する間もなければ反応を見たり聞いたりもしない。コミュニケーションを拒否して一方通行である。同時に家庭内でのコミュニケーションさえ変えてしまった。昔噺や童話の語り聞かせとTVのマンガでは、コミュニケーション形に大きな違いに気づいている親は少ないように見える。黙りこくってTVを見つめる子どもは反応を示し感動を表に出すことが少ない。じっくり人の言うことを聞く態度が育っていないし、話し方も自分勝手な一方通行型がふえてきている。世の母親に考えていただきたいものである。

こども工作教室

ご案内

～今回は紙工作です～

左記要項により、こどもを対象にした工作教室を行います。できましたら親子でご参加下さい。

日時＝七月三十日（日）
午後一時三十分より
会場＝中央公民館二階
主催＝中央公民館
※申込みはいりません。
青年学級の皆さんがおつだいいたします。

ギターと琴の夕べ

ご案内

～入場は無料です～

ギターと琴の美しい音色が心を豊かにします。皆さんお誘い合せのうえ、多数ご来場下さい。

日時＝八月六日（日）
午後六時三十分より
会場＝中央公民館三階
主催小須戸ギタークラブ
曲目＝夜霧のしのび逢い
ほかギター合奏十五曲
みだれ・かおる花・みずうみのうた琴合奏。

老連だより

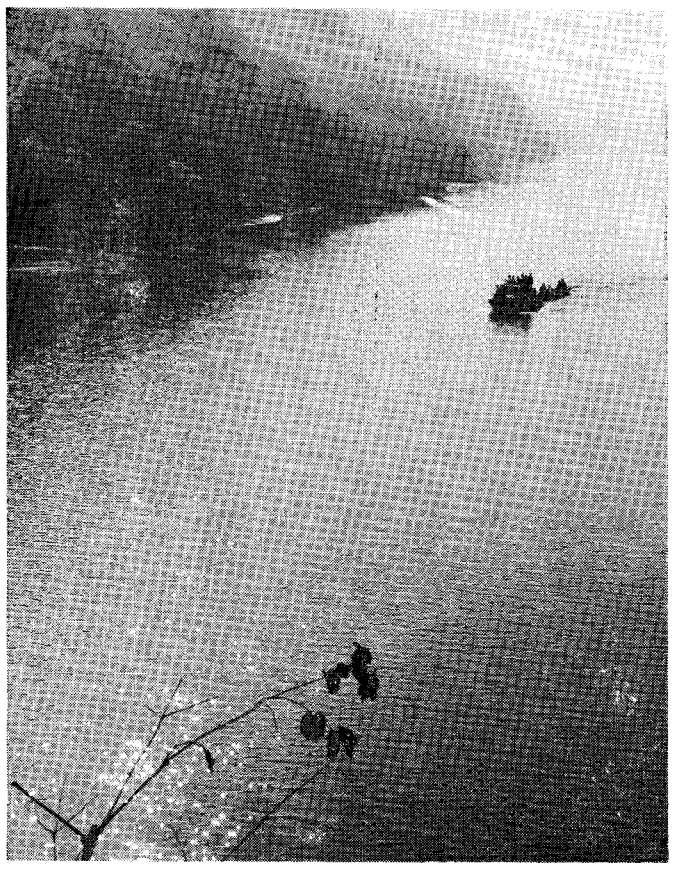
全体学習のご案内

左記により全体学習を行います。

多数ご参加下さい。

なお、今回より半日学習の会場が変更になりますのでご注意下さい。

日時＝七月二十五日（火）
午前九時三十分より
会場＝老人福祉センター
演題＝老人の諸問題
講師＝橋本礼一郎氏
※午後から老人向けの映写会を行います。



一つの人生

まがらゆきえ

つれづれなるままに
書き連ねた諸々の文に
その心を尋ぬれば
心さびしいと
ただ　それだけ
川もに浮かぶ泡沫は
水の流れに溶け込む
我　人生かな
浮き沈みの激しい人の世に
かき乱される
我　人生かな

日暮し時はわびしきものなり
空白な日々は
心に残らぬものなり
ひとえに
あわき人とのつながりに同じ
消え去る泡沫は
我　姿なり

夏の交通安全運動〈実施要綱〉

～240万県民の総力をあげて交通事故をなくそう～

この運動は、県民一人一人の自覚により、正しい交通マナーを身につけ広く地域、職域に交通安全活動を展開し、夏期における交通事故防止、特に死亡事故抑止を図ることを目的として行います

期間＝七月二一日（金）～八月二〇日（日）

運動の重点

1　自転車利用者及び夏休み中のこどもの交通事故防止

2　飲酒運転・過労運転等の防止

3　シートベルト・ヘルメット着用の推進

運動のスローガン

〝ゆずりあう心で夏の交通安全〟

※交通安全指導所の設置（小須戸町関係）

日時＝七月二十七日
八時～十時
八月一日
十五時～十七時

路線＝三条・新津線

こどもと老人の交通事故防止一〇〇日運動実施!!

目的＝この運動は、県民のすべてが家庭・学校・職域・地域において、さらに交通安全意識を高め合い、交通ルールを守りこどもと老人の交通事故防止を図る。

実施期間

五十三年七月十日～五十三年十月十七日

◎運動のスローガン

〝まず徐行！あそこにこどもおとしより〟

最近の交通事故の発生状況について

当町の事故発生状況は五月末現在で

・発生件数　一三件
・死　者　一名
・傷　者　一二名

前年同期に比べ、発生件数六件増、死者同数、傷者四件増で、去年よりはるかに増加しています

七月～八月は一年のうちで最も交通事故の多い月です。なかでも目立つのが、いたましいこどもの犠牲者です。

夏休みの解放感と暑さによる心身の疲れから、こどもたちの注意も鈍りがちなうえ、ドライバーも暑さと疲労で居眠り運転が増えるなど、こどもえの注意がおろそかになりがちです。

こどもの特性は

。考えや行動が一面的。
。物事を単純にしか理解できない。
。気分が変りやすい。
。応用動作がきかない。

以上の点から、家庭の中から交通安全に対する知識を身につけて、交通事故にあわないように、くれぐれも注意いたしましょう。

消費生活改善

推進員に委嘱さる

皆さんから寄せられた苦情、相談、意見、要望などを県の消費生活課に取り次ぎ〝消費者と行政のパイプ役〟をつとめる消費生活改善推進委員に本町から次の方が委嘱されましたので、生活必需品関係のことについて、ご意見等がありましたらお気軽にご相談下さい。

小須戸町若葉町一丁目
森田芳江

連絡先　電話二三七六

ご寄附御礼

新潟市酒屋にお住いの新潟小須戸会々員の佐藤キンさん（旧姓広川）より、館報や町だよりのお礼にと、金一万円のご寄附をいただきました。厚く御礼申し上げます。

自転車の乗り方

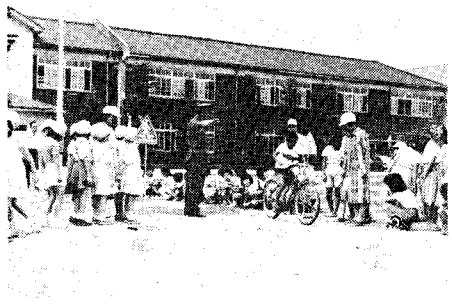
交通安全教室

小須戸小学校

去る七月四日（火）小須戸小学校において、自転車の正しい乗り方、正しい道路の横断のしかたについて、交通安全教室が開催されました。

内容は、低学年の部、高学年の部と二つに分けてコースを作り、交通安全機材を使用し実際と同じような状況で実施しました。

昨年の七月四日新栄町地内で悲しい死亡交通事故が発生しており、あれから一年、児童たちの交通安全に対する意識も一段とたかまりました。特に交差点での右折のしかた、丁字路での一旦停止等を重点的に行いました。なお、警察所の職員と交通指導隊の皆さんが指導に当りました



〝夏の風物詩〟も火事のもと

～花火による火災がふえています～

夕涼みに、家族そろって花火をするのは、夏の夜ならではの楽しいひとときです。

ところが、取り扱いを一歩誤まると、火災や火傷などの事故のもとになりますのでご注意下さい

◎場　所

人家など建物の密集したところは避けるとともに、周囲に木くずや油類など燃えやすい物がないかどうか確かめる。

◎気象条件

火災警報や強風・異常乾燥にともなう注意報が発令されているときは、絶対にしないこと。そうでなくても、風が強いと感じたときは避けること

◎大人が立ちあう

子供だけで遊んでいたために、周囲の紙くずが燃えだしたのに適切な消火ができず、建物に燃え移った例があります。必ず大人が立ちあうこと。

◎注意書きに従う

子供は好奇心が強いため、花火を分解したり、火薬類を取り出したりしがちです。また、数本まとめて火をつけたりするのは極めて危険です。注意書きに従って取り扱って下さい。

◎水の用意

必ず水の入ったバケツなどを用意して万一に備えるほか、マッチや花火の燃えガラの後始末を忘れずに。

なぎさ

母の思い出

天ヶ沢一
長井要吉

私の母は五十一年一月三十日、あの大雪の真最中に死んだ。九十五才だった。まあ天寿を全うしたといってよいと思う。

耳は遠かったが、体は至って達者で九十才くらいまでは畑仕事か草取りに一生けん命だった。

雨上りの山の畑で滑って腰を打ったのがもとで歩けないようになり、五年余り寝たきりだった。

三十才そこそこで夫に死別、再婚もせず女の細腕でよく頑張ってこられたと思う。母子家庭の優遇措置等の無い時代、苦労が思いやられる。

あの頃、天ヶ沢の山にはまだ原油が出て、それを樽に詰めて山から下ろす仕事や、油井戸から原油を汲み上げる仕事等していた。朝が早い故か私が寝ぼうの故か、朝、目をさますと枕元に味噌をつけたオニギリが二つちゃんといつも置いてあった。小学校入学前の頃だと思う。

その後、原油も出なくなり、山へ薪拾いに行っては小須戸・白根の市日に売りに行って生計をたてたらしい。

五月の中旬から六月一ぱいくらいと思う。

笹の葉を取って夜業に束ねて、節句や寺お講、祭等を目がけて西蒲原の農家を廻って屑米と交換して来る。

多い時は一斗以上の時もあったらしい。

それが我家の大切な飯米だった。家から西蒲原まで三里として往復六里それも精一杯の荷物を背負って歩く、今の若い人には気の遠くなるような話だ。

母の冬の仕事は豆腐を作って売ることだった。

もっとも朝の早い仕事なので大釜の火を焚くのに起されるともう真白い豆汁が桶に一杯になっていた。一箱の豆腐が一日にどうやら無くなる。有難いことだった。

こんな苦労をした母もどうやら旅行にでも行けるようになった頃はもう年を取り過ぎていた。

昭和二十七～八年頃だと思うが、皇居の勤労奉仕に東京まで行ったのが一番遠いところだったと思う。

死ぬまで苦労の絶えなかった母に今更申し訳ないと思っている。

精神衛生巡回相談　（日時）7月31日（月）午後1時30分～2時30分　（会場）中央公民館　（担当者）新津精神病院長

第三回高令者スポーツ大会開催
明治、大正の青年たち大ハッスル
老連の新発足にふさわしく、盛大に行わる

七月二日、町老連の運動会は、つゆ晴れの好天に恵まれ、町民体育館で社会体育指導委員の皆さんの協力を得て、壮者を凌ぐ元気さで、また童心に立ち返り楽しい一日で終始した。

今回のスポーツ大会は三回目であったが、老連新発足の年にふさわしい内容の大会となったことを関係者一同、喜び合い満足していた。

準備のために朝八時半から役員、運営委員が一時間ほどで準備OK。

ついで二台のマイクロバスをはじめ、徒歩で選手兼応援団も続々集結し万国旗で飾られた広い会場も老人の運動会とも思われないほどの明るさと和やかな雰囲気いっぱい。

やがて町部、中通り、山の手の各チームはプラカードを持ったリーダーを先頭に整列、開会式にうつる。定刻十時に大会宣言、ついで国家斉唱、優勝杯の返還などがありいよいよ競技開始。

プログラムも個人種目と団体対抗種目があり、いつもながら特に団体種目には力が入り、事前の作戦もなかなか……。

ボーリング、ビンつりなど、例年おなじみの種目に〝恋人と一緒に〟や〝お掃除は上手〟などの新種目を取り入れ、一段と活気に満ちたゲームが展開された。

最も熱の入ったのは何といっても最後の団体対抗の大玉送りであった。

真剣な顔と顔、曲がった腰を精一杯のばしての奮斗ぶりには頭の下がる思いであった。

終って全員による太鼓に合わせて踊った盆踊りは、ほどよい整理体操を兼ね、大きな輪となった。

なお、成績は山の手と中通りの同点決勝の結果中通りが団体優勝した。

参加賞は福引とし、花の町にちなんでサツキ賞寒梅賞など、五種類を引き当てるなど、賞品係のアイデアもちょっぴり。

閉会式の万才や老人クラブの歌声も高らかに力強く、後片づけも協力し合って整然と終り、各々地区の選手慰労反省会場へ解散した。町部チームの参加が予想外に少なかったのが残念なことで、他の行事と重なったせいもあったことで止むを得ないことであろうか。

大会開催に際し、多数の方々よりご協力いただきましたことに対し、厚く御礼申し上げます。

（老連事務局長萱森）

明るい小須戸町はまず健康から!!

◎家庭でできるからだの常識テスト

①閉眼片足立ち（バランス）

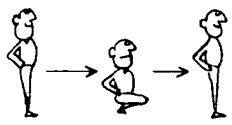
目を閉じ、きき足で何秒間じっとしていられますか。

②座位足開閉（敏しょう性）

腰かけて台の上に足をのせ、親指で床にふれてもどる動作を10秒間に何回できますか。

台高約1cm

③ひざ全屈伸（筋　力）



腰に手をあて、ひざを完全にまげ元にもどる動作が何回できますか。

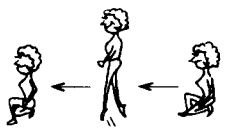
④立位体前屈（柔軟性）

台上でひざを伸ばしたまま両手をのばして前に屈げ3秒間とめます。台上を0cmとしてそれ以下を＋何cmとします。

⑤息こらえ（持久力）

腰かけて片手で鼻をつまみ、口をしっかり閉じ深く吸った息を何秒間止められますか。

⑥しゃがみ跳び（瞬発力）



真上にとび、前後の足をかえて元の姿勢にもどる動作を20秒間に何回できますか。

◎得点換算表

得点＼体力年代	男子 ① 閉眼片足立ち	男子 ② 座位足開閉	男子 ③ ひざ全屈伸	男子 ④ 立位体前屈	男子 ⑤ 息こらし	男子 ⑥ しゃがみ跳び	女子 ① 閉眼片足立ち	女子 ② 座位足開閉	女子 ③ ひざ全屈伸	女子 ④ 立位体前屈	女子 ⑤ 息こらえ	女子 ⑥ しゃがみ跳び
	秒	回	回	cm	秒	回		回	回	cm	秒	回
1点 50代	～9	～15	～10	～0	～10	～9	～9	～15	～10	～0	～10	～9
2点 40代	10～20	16～18	11～13	1～3	11～25	10～13	10～19	16～18	11～13	1～5	11～14	10～12
3点 30代	21～40	19～21	14～15	4～8	26～40	14～17	20～30	19～21	14～15	6～10	15～24	13～15
4点 20代	41～59	22～24	16～18	9～13	41～59	18～21	31～40	22～24	16～17	11～15	25～39	16～18
5点 強健者	60～	25～	19～	14～	60～	22～	41～	25～	18～	16～	40～	19～

運動を行う順序

健康診断 → 治療（リハビリテーション）

からだに異常がないか調べる。

早期治療・機能回復をめざす。

体力テスト

すぐれている面や劣っている面をみつける。

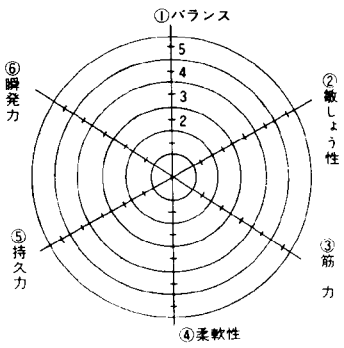
運動の処方

自分に適した運動をつくる。

運動の実践

1週少なくとも3日間継続3ケ月する。

◎体力プロフイール



あなたの各種目の得点を記入して赤線でむすんで下さい。

大きな正六角形になるほどよいのです。

勤労者協議会の主催で民謡連盟が踊りを披露
謡曲もまじえ三十数曲を披露

去る六月十八日、勤労者協議会主催による民謡踊大会が行われました。

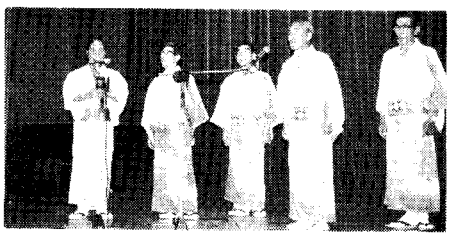
これは、勤協の総会を兼ねて会員や一般の人たちに民謡踊りを楽しんでもらおうと計画されたものです。

また、踊りや謡曲を披露した民謡連盟は、去る六月十日に連盟設立総会を終えたばかりの団体組織で、今回が初の披露会となりました。

会場となった町民体育館には、午前十時の開会前から会員やその家族、一般の人たちがつめかけなかなかの盛況ぶりでした。

午前十時に、勤協会長や来賓のあいさつが行われた後、午後二時半の終了時まで、約三十曲、たっぷりと民謡踊りと謡曲を堪能しました。

機会があればまたぜひ催したいとの事でした。



こどもクイズ

さあ！考えて？

つぎの問題の□の中に答えを書いて公民館へ。答え・住所・氏名・学年クラスをハッキリ書いてハガキで送って下さい。正解者の中から五名の方に賞品をお贈りします。

一問　夏の日焼けは　□外線が強いからです。

二問　ツノのあるカブトムシはオス？　メス？

三問　南瓜と書いて□□□と読みます。

前号の正解は

一問ウリ　二問アルカリ　三問二

抽選の結果　次の方々へ賞品をお贈りしました。

矢代田　加藤　健一三年
新町二　吉田　愛子五年
水　田　渡辺恵美子　〃
中央町三内山美智子六年

（〆切は毎月五日です）

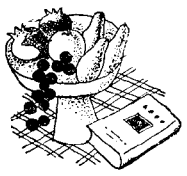
もしも水難事故に出あったら
人工呼吸ができますか？
水難救助講習会を開催

左記の要項により水難救助講習会を行います。いたましい水難事故を防ぐためにも多数のご参加をお待ちしております。

特に町内会役員など、子供さんを海へ連れていく皆さんにはぜひご参加いただきたいと思います。

日　時＝七月二十六日(水)午後七時三十分～
会　場＝中央公民館三階大ホール
講　師＝新津警察署より派遣

購入図書



◇ユニコーンの旅　五木　寛之
◇日本悪妻に乾杯　深田　祐介
◇ふたりの女野呂　邦暢
◇もってのほか　花登　筐
◇77便に何が起きたか　夏木　静子
◇背後の笑顔　笹沢　左保
◇甘い脅迫　中山あい子
◇戦国幻想曲　池波正太郎
◇ノンちゃんの冒険　柴田　翔
◇日本人と原子力　山本　七平
◇旅のモザイク　渋沢　龍彦
◇アメリカ野球物語　内村　祐之
◇客からの栄光　城山　三郎
◇騒動師たち　野坂　昭如
◇汽車は遅れなかった　ハインリヒ・ベル
◇惑星と生命　宮本正太郎
◇母の霊　耕　治人

六月句会報
小須戸町俳句同好会

不意に来て大樹の鄙公鳴き出せり　太浪
絡み落つ祇絵の猛者川に果つ　静花
地震きて雷鳴って梅雨に入る　松山
奉悉や乙女の頃の恋消えず　秀穂
梅雨の雲低く溜りてつゝじ燃ゆ　可津朋
よしきりの声す向うも花畑　林矢
若葉燃え風塵けりて子等走る　冨沙子
かたくなに上衣手に持ち夏の旅　蝶一路
夏ハゼの小さき鈴の花たわわ　紀男
首へまわす孫の手やわし燕飛ぶ　芳人
近よればなをくちなしの匂い濃き　香月
ねんごろに梅雨入りの雷昨日今日　虚秋
ナイターを観ている胸にけら当る　樫男
梅雨深き山畑へ蝶紛れ入り　石秋
夜の雨を期して茄子苗おろしけり　良遊

◎句会報〝こすど〟の希望頒布について（訂正とお詫び）

右のことについて、前月号に誤りがありましたので訂正してお詫びいたします。

（誤）一部　一、〇〇〇円
（正）一年分　一、〇〇〇円

三・八の市
我妻清作

飾りなき言葉聞きたりしみじみと露店市場の雑踏に来て